

組付要領書及び部品表

Takakita

Mix J-7

MX-J B S S

MX2200用



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**M i xソーワ用J B S Sキット**の組付要領について記載してあります。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。

また、ご使用前にはM i xソーワ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または弊社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として、製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを停止し、PTOを切ってから確実に取付けてください。

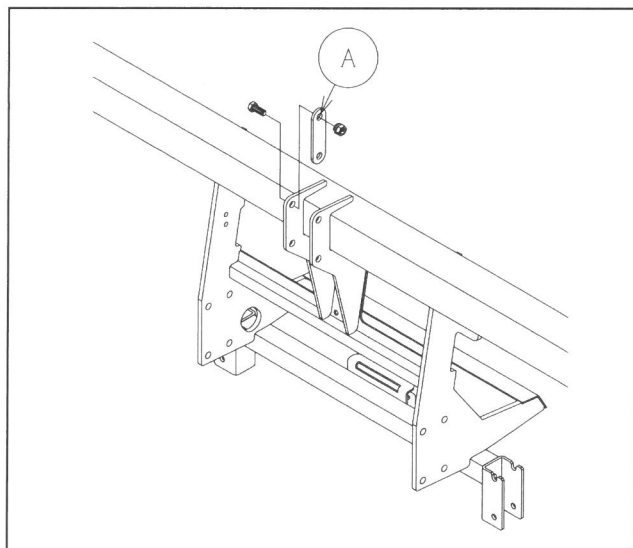
1. J B S S ヒッチの組付け

◆組付け手順

[1] トップリンクブラケット関係の組付け

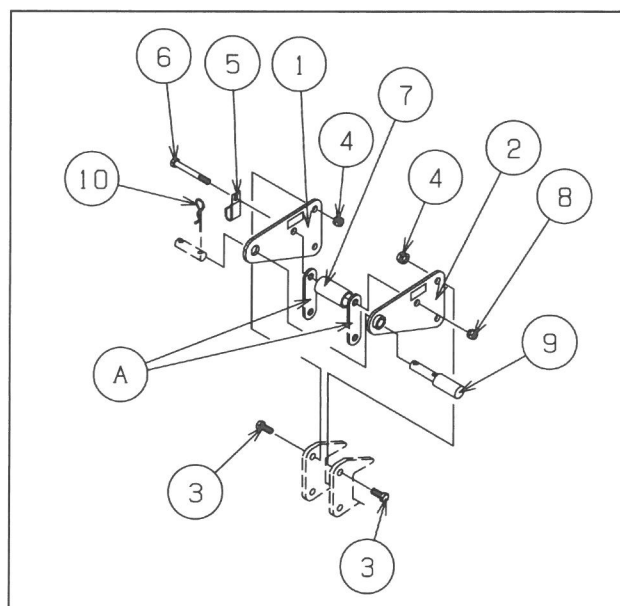
(1) カテゴリ I・II 共通

本機フレーム側トップリンク部の内側に付属している④スペーサー 2 枚を取り外してください。取り外したスペーサーは後ほど使用する為、保管しておいてください。

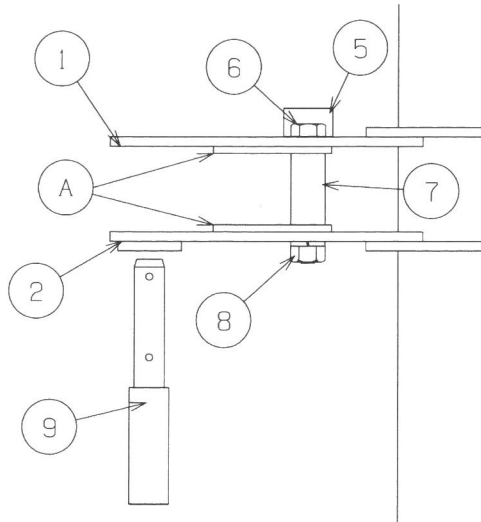


①②トップリンクブラケットを本機フレーム側トップリンク部の内側に、本体に付属している③ボルト (M12×35) で組付け、④スプリングナットで固定してください。⑤クランプと共に、⑥ボルト (M12×80) を右図の様に差し込み、間に⑦スペーサーと

先ほど取り外した④スペーサー 2 枚を入れ、⑧スプリングナットで固定してください。次に⑨トップリンクピンを差し込み、⑩アールピンで止めてください。



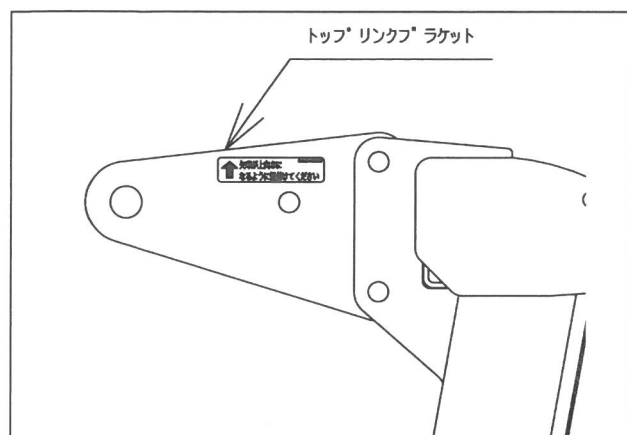
〈 スペーサー関係上面図 〉



J B S S ヒッチの組付け

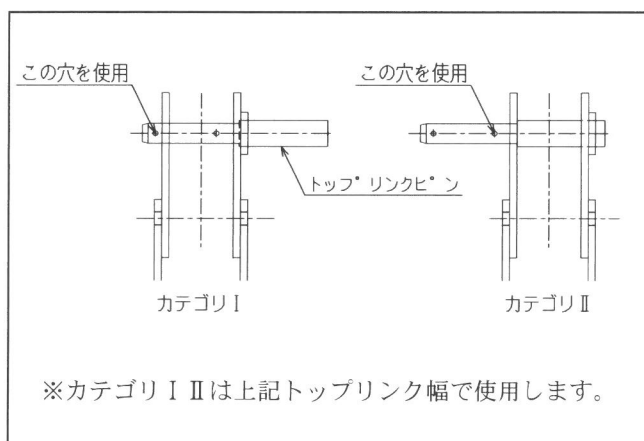
注意

① トップリンクブラケットは下図の様に、矢印が上側になるように組付けてください。



(2) トップリンクピンの使用方法

使用するカテゴリによって、下図の様にトップリンクピンを使い分けてください。

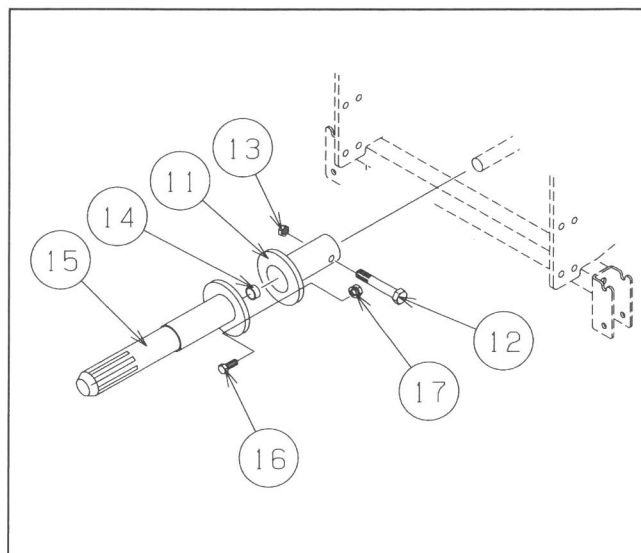


[2] 軸関係の組付け

(1) カテゴリⅠ・Ⅱ共通

MX本機の軸に⑪シェアホイールを差し込み、⑫セットボルト(M8×45)、⑬スプリングナットでしっかり固定してください。⑪シェアホイールに⑭ドライメットブッシュを差し込み、⑮スプラインニュウリョクジクを⑯ボルト(M6×25(8T・全ネジ))と⑰ナイロンナットで固定してください。

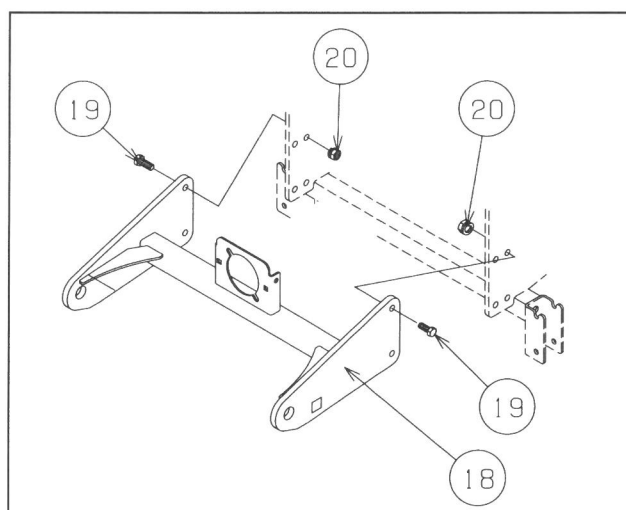
MX-J B S S



[3] ロワーリンクブラケットの組付け

(1) カテゴリⅠ・Ⅱ共通

⑱ロワーリンクブラケットを本機フレーム側のロワーリンク部の外側に⑲ボルト(M12×40(8T))、⑳スプリングナットで組付けてください。進行方向後側の穴を使用してください。

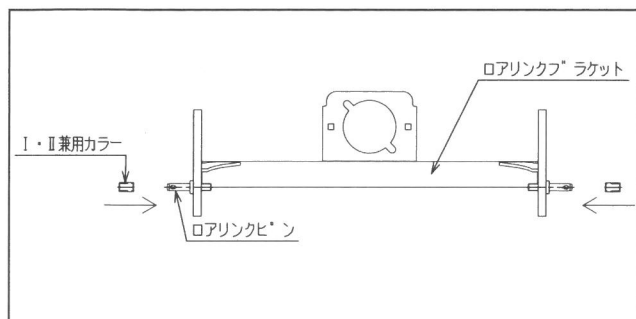


J B S S ヒッチの組付け

〔2〕 I・II 兼用カラーの使用法

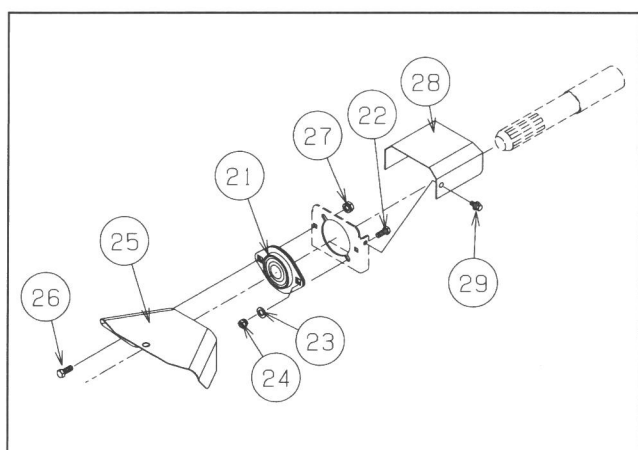
カテゴリ I の場合はそのまま装着できます。

カテゴリ II の場合はロワーリンクピンに I・II 兼用カラーをはめ込み、装着してください。



〔4〕 ベアリングの組付け

②1ベアリングをロワーリンクブラケットに②2ボルト (M10×25) ②3ヒラザガネ②4スプリングナットで組付けてください。そして、②5P T Oカバーを②6カクネボルト (M8×20) と②7スプリングナットで組付けてください。そして、②8P T Oカバーを②9ボルト (M8×20 (コガタ・3P)) で固定してください。



注意

ベアリング組込時は、スプライン入力軸がブラケット穴の中央で組付けられていることを確認してください。

ズレたままで無理に組付けると、軸折れ等の原因となります。

MX-J B S S

〔5〕 スタンドの取付け

次頁の組立完成図のように、リンチピンでスタンドを組付けてください。

〔6〕 ドッキング

入力軸を手で回し、アジテータがスムーズに回ることが確認できましたら、トラクタにドッキングしてください。

⚠ 注意

使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締付けられているかを必ず確認してください。

2. 3点リンケージへの装着のしかた

◆ 3点リンケージの装着順序

左のロワーリンク、右のロワーリンク、トップリnkの順序で取付けてください。

◆ トップリnk連結穴位置は

トラクタ側のトップリnk連結位置は、トップリnkとロワーリンクが最も平行に近い位置で取付けてください。

◆ トップリnkの長さの調整

トップリnkの長さで、本機のトラクタへの装着後の水平状態を調整します。標準作業時で、シャッター部の地上高は約30cmです。

◆ チェックチェーンで横振れ調整

運搬および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心と本機中心が一致するように左右均等に調整し固定してください。

J B S S ヒッチの組付け

注意

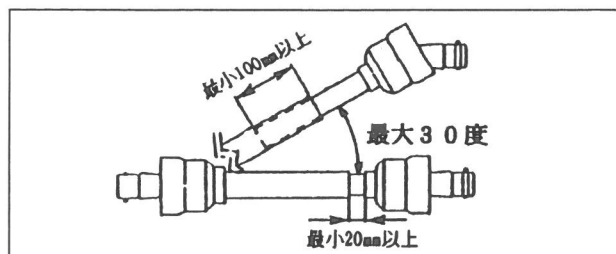
- 本機の装着後、トラクタのロワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。

3. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ユニバーサルジョイントの取付け順序
本機入力軸に取付けてから、トラクタPTO軸に確実に取付けてください。

◆ユニバーサルジョイントの長さ確認
ジョイントの長さは、3点リンケージによる本機の上昇・下降により変化します。ジョイント長さが長すぎないかを確認してください。
長すぎるときは、次図の寸法が確保できるように切断してください。

MX-J B S S



注意

作業時のジョイント角度は最大30度を超えないように調整してください。
30度を超えると、ジョイント破損の原因となります。

◆カバー回転止めチェーンで固定を
ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

◆組立完成図

《MX2200-J B S S》

